

運用状況レポート

【2024年3月31日現在】



この商品は、新規のご契約のお取扱いを停止させていただいており、一時投入保険料のお払込み（増額）のみのお取扱いとさせていただいております。一時投入保険料のお払込み（増額）をご検討いただく際には、必ず「特に重要なお知らせ」をあわせてご覧ください。

明治安田生命保険相互会社

ご契約の最新情報は

明治安田生命ホームページ

<https://www.meijiyasuda.co.jp/>

お問い合わせは

明治安田生命コミュニケーションセンター



ようこそ ハロー
0120-453-860

ユニット方式

- ◆ 一時払変額個人年金保険（災害2割増型）では、日々変動するご契約者の持分（積立金：特別勘定資産のうち、ご契約にかかわる部分）を各特別勘定ごとに「ユニット価格」と「ユニット数（口数）」により管理します。

| | |
|-----------|--|
| ユニット価格 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ユニット価格は、特別勘定資産のユニット数（口数）1口の価格のことをいいます。 ・ 特別勘定設定時におけるユニット価格は、10,000円でスタートし、以降、特別勘定資産の評価を反映して日々計算されます。 ※ご契約ごとの一時払保険料や一時投入保険料で購入するユニット数（口数）を決定するユニット価格は、繰入日のユニット価格となりますので、個々のご契約に適用されるユニット価格が10,000円でスタートするわけではありません。 ・ 公表されるユニット価格は、資産運用関係費および保険契約関係費を控除した後のものです。 |
| ユニット数（口数） | <ul style="list-style-type: none"> ・ ユニット数（口数）は、特別勘定資産のご契約者の保有分を表す単位のことをいいます。 ・ 例えば、「ユニット価格」が20,000円の特別勘定に保険料100万円を繰り入れた場合、50口の「ユニット数（口数）」を購入したことになります。 ・ ユニット数（口数）は、一時投入保険料の払込みや一部解約により増減します。 ・ 月単位の契約応当日の前日に既払込保険料相当額が200万円未満の場合は、保険契約維持費が同日の積立金から控除され、ユニット数（口数）が減少します。 |

積立金

- ◆ ご契約者の持分である積立金は、各特別勘定の個々のご契約の積立金の合計額で表されます。
- ◆ 各特別勘定の個々のご契約の積立金は、つぎの算式で計算されます。

$$\text{各特別勘定の個々のご契約の積立金} = \text{〔日々定まる各特別勘定のユニット価格〕} \times \text{〔その時点で保有している特別勘定のユニット数（口数）〕}$$

□ 積立金の計算例〔前提条件〕

- ・ 一時払保険料 10,000,000円
- ・ 繰入日 10月1日
- ・ 繰り入れる特別勘定 A特別勘定
- ・ A特別勘定の10月1日のユニット価格 10,000円

| | | 10月1日 | 11月1日 | 12月1日 |
|----------------|-----|-------------|------------|-------------|
| 保険料のA特別勘定への繰入れ | | 10,000,000円 | 0円 | 0円 |
| ユニット価格（1口あたり） | | 10,000円 | 9,000円 | 12,000円 |
| ユニット数（口数） | 購入数 | 1,000口 | 0口 | 0口 |
| | 売却数 | 0口 | 0口 | 0口 |
| | 保有数 | 1,000口 | 1,000口 | 1,000口 |
| 積立金 | | 10,000,000円 | 9,000,000円 | 12,000,000円 |

※月単位の契約応当日の前日に既払込保険料相当額が200万円未満の場合は、保険契約維持費が同日の積立金から控除され、ユニット数（口数）が減少します。

用語解説

当レポートの用語

- 組入比率** 特別勘定または投資信託の資金のうち何%を、当該投資対象への投資にあてているかを表します。通常は、資金の出入りに備えて一定の現預金を保有するため、この比率は100%を下回ります。
- 基準価額** 投資信託の純資産価額を口数で除した、一口あたりの評価額です。投資信託の運用実績を表していますが、特別勘定のユニット価格とは異なるものであり、両者の動きは完全には一致しません。
- 分配金** 投資信託において、投資収益を還元するひとつの方法として分配された金銭をいいます。特別勘定では、受け取った分配金をただちに再投資し、投資信託を買い増します。
- ベンチマーク** 投資信託を運用・評価する際の基準となる指標のことです。
- マザーファンド** 投資信託の運用会社において、効率的な運用を実現するために設けられた仕組みです。たとえば、バランス型投資信託のうち日本株式部分を、日本株式型投資信託と合同で運用すれば効率的です。複数の投資信託の資金を合同で運用する受け皿がマザーファンドであり、集められた資金をもとに株式や債券などに投資を行ない、その成果を各投資信託に還元します。

一時払変額個人年金保険（災害2割増型）の投資リスク

- ◆ この保険では、保険料を国内外の株式や債券等に投資する特別勘定で運用し、その運用実績によって積立金額が変動（増減）するため、ご契約者は、経済情勢や運用状況によっては一定の収益を期待できますが、一方で株式その他有価証券の価格変動と為替変動などに伴う投資リスクも負うことになります。運用実績によってはお受け取りになる返戻金額等が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被ることがあります。
- ◆ 運用実績の評価は、プラスの場合もマイナスの場合も、直接、死亡給付金額、返戻金額および将来の年金受取額等に反映され、すべての投資リスクはご契約者に帰属いたします。
- ◆ 特別勘定における資産運用では、主に以下の投資リスクがあります。

| 投資リスクの種類 | 投資リスクの内容 |
|-----------|---|
| ①価格変動リスク | 株式、債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、有価証券の市場価格の変動を反映するため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。 |
| ②金利変動リスク | 債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、政策金利や市場金利が変動することにより公社債等の価格が変動するため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。 |
| ③為替リスク | 外貨建資産に対して投資する特別勘定では、運用資産の評価に使用する為替レートが変動することにより外貨建資産の価格が変動するため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。また、為替ヘッジを行なう場合、円とヘッジ対象通貨との金利差相当額のヘッジ・コストがかかります。 |
| ④信用リスク | 債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、それらの発行体が、経営状況および財政状況の悪化や倒産等の理由により、利息や償還金をあらかじめ定められた条件で支払うことができなくなることがあるため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。 |
| ⑤流動性リスク | 株式、債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、流動性の低い株式や債券を売買する場合、売買を希望する時期に市場実勢から期待される適正な価格や希望する数量で売却できないことがあるため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。 |
| ⑥カントリーリスク | 海外の株式、債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、それらの投資対象国の政治・経済・社会状況の不安定化に伴う金融・証券市場の混乱により、投資対象国の資産価格が大きく変動することがあるため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。 |

特別勘定の種類と運用方針について

- ◆ 特別勘定の種類と各特別勘定で投資を予定している投資信託は当社が定めます。特別勘定では投資信託のほか、保険契約の異動等に備え一定の現預金等を保有します。
- ◆ 特別勘定の種類と特別勘定の運用方針については、今後変更することがあります。

| 特別勘定の種類 コード | 運用方針 | 資産運用関係費 (投資信託の信託報酬) (年率) | 組入れ投資信託の特色・主な投資リスク | | |
|-------------------|---|--------------------------------|------------------------------|--|---|
| | | 投資信託委託会社 | | | |
| バランス型 (A) 0413 | 当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型株式投資信託「三菱UFJ ライフプラン50VA (適格機関投資家限定)」に投資することにより行ないます。 | 0.6600% (税抜0.60%) | 三菱UFJ アセットマネジメント 株式会社※ | 国内外の株式および公社債に分散投資し、各資産の市場見通しに基づいて一定範囲内で資産配分を変更し、超過収益を目指します。為替リスクに対するヘッジは原則として行ないません。基準組入比率は右記のとおりです。 価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等があります。 | 国内株式 : 30% 国内債券 : 35% 海外株式 : 20% 海外債券 : 10% 短期金融資産 : 5% |
| 日本株式型 (A) 0416 | 当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型株式投資信託「三菱UFJ 日本株式オープンVA (適格機関投資家限定)」に投資することにより行ないます。 | 0.9350% (税抜0.85%) | 三菱UFJ アセットマネジメント 株式会社 | 日本株式に分散投資し、東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) を中長期的に上回る投資成果を目指してアクティブ運用を行ないます。成長力や業績改善度の大きな銘柄、または株価が企業価値に対して割安で今後上昇が見込まれる銘柄を選択します。 日本株式の価格変動リスク等があります。 | |
| 日本株式型 (B) 0417 | 当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型投信「明治安田VA日本株式オープン (適格機関投資家私募)」に投資することにより行ないます。 | 0.8030% (税抜0.73%) | 明治安田 アセットマネジメント 株式会社 | 日本株式に投資し、東証株価指数 (TOPIX) を中長期的に上回る投資成果を目指してアクティブ運用を行ないます。グローバルなリサーチ体制のもと、企業の成長性、クオリティー (経営内容の質、財務体質等)、企業価値評価を重視して成長株への投資を行ないます。 日本株式の価格変動リスク等があります。 | |
| 日本株式型 (C) 0418 | 当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型株式投資信託「フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3 (適格機関投資家専用)」に投資することにより行ないます。 | 0.9680% (税抜0.88%) | フィデリティ投信 株式会社 | 日本株式に分散投資し、長期的に東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) を上回る運用成果をあげることがを目標とします。綿密な企業調査に基づき、業種や企業規模を限定せずに将来高い成長が期待できる銘柄を厳選して、妥当と思われる株価水準で投資を行ないます。 日本株式の価格変動リスク等があります。 | |
| 海外株式型 (A) 0420 | 当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型株式投資信託「三菱UFJ海外株式オープンVA (適格機関投資家限定)」に投資することにより行ないます。 | 0.9350% (税抜0.85%) | 三菱UFJ アセットマネジメント 株式会社 | 日本を除く世界主要国の株式に分散投資し、MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース) を中長期的に上回る投資成果を目指します。投資対象国別の資産配分および銘柄選択におけるアクティブ運用により、超過収益の獲得を目指します。為替リスクに対するヘッジは原則として行ないません。 海外株式の価格変動リスク、為替リスク等があります。 | |
| 海外債券型 (A) 0422 | 当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型投信「明治安田VA外国債券オープン (適格機関投資家私募)」に投資することにより行ないます。 | 0.6270% (税抜0.57%) | 明治安田 アセットマネジメント 株式会社 | 日本を除く世界主要国の公社債に分散投資し、F T S E 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) を中長期的に上回る投資成果を目指します。各国の政治・経済動向を分析して国別の配分を決め、信用度の高い公社債に投資します。為替リスクに対するヘッジは原則として行ないません。 海外債券の為替リスク、信用リスク、金利変動リスク等があります。 | |
| マネー型 0424 | コールローン等の短期金融資産に投資し、安定した利息収入を追求します。なお当該特別勘定では、明治安田生命が直接運用します。 | 資産運用関係費は かかりません | — | — | — |

資産運用関係費について

- 資産運用関係費は主たる投資対象である投資信託の信託報酬に記載しております。投資信託の信託報酬は、投資信託の純資産総額に対して上記の所定の率を乗じたものです。また資産運用関係費には、信託報酬の他、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金がかかります。
- 公表されるユニット価格は、資産運用関係費および保険契約関係費を控除した後のものです。
- 資産運用関係費については、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

組入れ投資信託の詳細について

- マネー型を除く各特別勘定に組み入れる投資信託の基本的性格、投資方針、投資リスク等については、「特別勘定のしおり」に記載しております。

マネー型について

- マネー型が投資する安全性の高い短期金融資産は一般的に利回りが低いため、保険契約関係費を控除した後の積立金が継続的に減少することがあります。

特別勘定群について

- 一時払変額個人年金保険 (災害2割増型) では、複数の特別勘定を含む特別勘定群を設定しています。
- 一時払変額個人年金保険 (災害2割増型) の特別勘定群に含まれる特別勘定は前記のとおりです。ご契約の際、および特別勘定部分の積立金の移転の際にご選択いただける特別勘定は、前記の特別勘定および今後当社が本特別勘定群に追加する特別勘定に限ります。
- 当社の変額個人年金商品には、本特別勘定群とは異なる特別勘定群を設定した商品などがあります。詳細は明治安田生命コミュニケーションセンターにご照会いただくか、当社ホームページにてご確認ください。

※三菱UFJ国際投信株式会社は2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。

保険契約関係費などの諸費用について

◆ 据置期間中の費用や年金支払期間中の費用などご契約者にご負担いただく費用があります。

1. 年金開始日前の費用

(ア) すべてのご契約者にご負担いただく費用

● 次の費用を控除したうえでユニット価格は計算されます。

| 項目 | 目的 | 費用 | 時期 |
|---------|---|--|---|
| 保険契約関係費 | 死亡給付金・災害死亡給付金のお支払いや、ご契約の締結・維持に必要な費用 | 特別勘定の資産総額に対して、年率1.454% | 特別勘定の資産総額に対して、年率1.454%/365日を毎日控除します |
| 資産運用関係費 | 特別勘定の運用にかかわる費用です。投資信託の信託報酬や信託事務の諸費用等を含みます | 各特別勘定において利用する投資信託により異なります。詳しくは、 特別勘定の種類と運用方針 についてをご覧ください。 | 投資信託の信託報酬は、各特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して、所定の率を乗じた金額を毎日控除します |

※資産運用関係費は、主たる投資対象である投資信託の信託報酬を記載しております。また、投資信託の信託報酬の他にも、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金など特別勘定の運用に係る費用等が控除されます。信託報酬以外のこれらの諸経費等については、投資信託委託会社における運用により発生し、その運用方法によって変動することから、費用の発生前にその金額や割合などを確定させることが困難なため表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、ユニット価格に反映することとなります。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することとなります。

※資産運用関係費は、運用手法の変更や運用資産額の変動等の理由により将来変更される可能性があります。

(イ) 特定の場合にご負担いただく費用

● 特別勘定のユニット価格を計算した後に特定のご契約者にご負担いただきます。

| 項目 | ご負担いただく場合 | 費用 | 時期 |
|---------|--|---|---------------------------|
| 保険契約維持費 | 月単位の契約当日の前日に既払込保険料相当額が200万円未満の場合 | 毎月400円 | 月単位の契約当日の前日に積立金から控除します |
| 解約控除 | 契約日（一時投入保険料部分については、その責任開始時の属する日）から解約日・一部解約日の翌営業日までの経過年数が10年未満の解約または一部解約の場合（契約日（一時投入保険料部分については、その責任開始時の属する日）から10年以上経過後に解約・一部解約する場合には解約控除はありません） | 契約日（一時投入保険料部分については、その責任開始時の属する日）からの経過年数に応じ、既払込保険料相当額に対して6.0%～0.6%の解約控除率を乗じた金額 | 解約・一部解約時にお支払いする積立金から控除します |

2. 年金開始日以後の費用

| 項目 | 費用 | 時期 |
|---------|---------------|----------------------------|
| 保険契約関係費 | 年金年額に対して1.0%* | 年金開始日以後、年金支払日に責任準備金から控除します |

* 上記の率は、将来変更となる可能性があります。

ご契約者にご負担いただく諸費用の合計額は、上記の「保険契約関係費」と「資産運用関係費」の合計です。なお、既払込保険料相当額が200万円未満の場合には「保険契約維持費」、契約日から10年未満の解約・一部解約の場合には「解約控除」がかかります。

特別勘定の運用概況

2024年3月31日現在

バランス型(A)

コード:0413

明治安田生命保険相互会社

- ・本資料は「一時払変額個人年金保険(災害2割増型)」の各特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的とするものではありません。
- ・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・「一時払変額個人年金保険(災害2割増型)」は、特別勘定で運用を行なう保険商品であり、投資信託ではありません。
- ・特別勘定の運用に伴うリスク(価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、金利変動リスク等)はすべてご契約者に帰属します。

《運用方針および運用の経過》

- ・当該特別勘定の運用は、主として、追加型株式投資信託「三菱UFJ ライフプラン50VA(適格機関投資家限定)」に投資することにより行ないます。組入比率については、高位で維持することを目指します。
- ・運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行ないました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行なう方針です。
- ・特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で+1.56%、設定来で+126.76%でした。

《特別勘定ユニット価格の推移》



| ユニット価格 | | ユニット価格変化率 | |
|-----------|-----------------|-----------|----------|
| 2024年3月末 | 22,676.03183159 | 直近1カ月 | +1.56% |
| 2024年2月末 | 22,327.73322568 | 直近3カ月 | +7.81% |
| 2024年1月末 | 21,766.27637464 | 直近6カ月 | +10.34% |
| 2023年12月末 | 21,033.06231031 | 直近1年 | +18.45% |
| 2023年11月末 | 20,967.92315136 | 直近3年 | +23.85% |
| 2023年10月末 | 19,967.94994295 | 設定来 | +126.76% |

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
 ・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《特別勘定資産の内訳》

| 区分 | 金額(百万円) | 比率(%) |
|---------|---------|-------|
| 投資信託 | 47 | 98.4 |
| 短期金融資産等 | 0 | 1.6 |
| 合計 | 48 | 100.0 |

- ・金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。
- ・比率は、特別勘定資産合計に対する割合です。また、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託：
 三菱UFJ ライフプラン50VA
 (適格機関投資家限定)
 設定・運用：
 三菱UFJアセットマネジメント株式会社

組入れております投資信託の運用状況につきましては、次ページ以降をご参照ください。
 組入れております投資信託は複数の資産に投資いたしますので、はじめに全資産を総合した運用状況を、次に各資産別の運用状況を掲載しております。

三菱UFJ ライフプラン50VA (適格機関投資家限定)

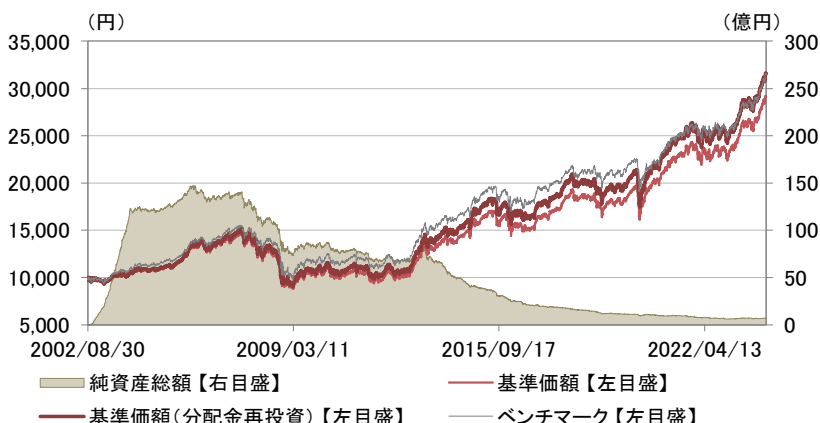
設定・運用
 三菱UFJアセットマネジメント株式会社

- 本資料は、一時払変額個人年金保険(災害2割増型)の各特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集または投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料の内容はあくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有しているわけではありません。特別勘定の運用状況については「特別勘定の運用概況」をご覧ください。
- この投資信託の値動きと特別勘定ユニット価格の値動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動に備えて一定の現預金等を保有していること、およびユニット価格の計算にあたり保険契約関係費を控除することによりです。
- 本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 本資料は、三菱UFJアセットマネジメントによる運用報告を明治安田生命より提供するものであり、内容に関して明治安田生命は一切の責任を負いません。

■商品概要

| | |
|--------|---|
| 形態 | 追加型株式投資信託/バランス型 |
| 主要投資対象 | 国内株式、海外株式、国内債券、海外債券、短期金融資産 ■資産配分の変更 各資産の市場見通しに基づき、相対的な魅力度を勘案の上、標準組入比率から一定の範囲内で資産配分の変更を行うことにより、リスク分散にも留意した資産構成を目指します。 ■標準組入比率と変更範囲 |
| 運用方針 | 国内株式30%(±5%) 国内債券35%(±10%) 海外株式20%(±5%) 海外債券10%(±5%) 短期金融資産5% ■ベンチマーク 東証株価指数(TOPIX)(配当込み)30%、NOMURA-BPI<総合>(国内債券投資収益指数)35%、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)20%、FTSE世界国債インデックス(除く日本・円ベース)10%、有担保コール(翌日物)5%を組み合わせた合成指数をベンチマークとして、これを中長期的に上回る投資成果を目指します。 |
| 設定日 | 2002年8月30日 |
| 信託期間 | 無期限 |
| 決算日 | 毎年12月15日(休業日の場合、翌営業日) |
| 信託報酬 | 純資産総額に対し、年率0.660%(税抜 年率0.6%) |

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
 ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
 ・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

| | 過去1ヵ月 | 過去3ヵ月 | 過去6ヵ月 | 過去1年 | 過去3年 | 設定来 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| ファンド | 1.7% | 8.4% | 11.4% | 20.8% | 30.3% | 216.2% |
| ベンチマーク | 2.2% | 8.7% | 11.4% | 20.4% | 28.0% | 215.8% |

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
 ・また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
 ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
 ・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

■運用担当者コメント

3月の株式市況は国内、米国、英国で上昇しました。金利は国内で上昇し、米国、ドイツで低下しました。また、為替は対円でドルが上昇し、ユーロが横ばいとなりました。
 世界経済は、2022年以降の欧米中銀主導による金融引き締めの効果が景気を下押ししつつも、底堅い成長速度を維持するとみています。米国では家計の過剰貯蓄解消や金利負担増加に伴い個人消費が鈍化する一方、安定した雇用環境等が景気を下支えとみています。日本では内需低迷で成長率が伸び悩むものの、世界的に景気軟着陸へ向かう中で円安効果等による企業業績の回復は続くかとみています。株式市況は、米連邦準備制度理事会(FRB)による累積利上げの景気下押し効果が重しとなり得ます。もともと、インフレ圧力緩和が続くなか、米国経済が所得効果等で景気後退に至る可能性が低い点や、米FRBが年内の利下げ実施を示唆している点などに支えられるとみています。国内株式は日銀の金融政策正常化に伴う影響への懸念はありますが、東証が推進する資本効率改善要請への期待感や日米金利差に伴う円安ドル高等を背景とした業績改善効果などが株価をサポートするとみています。当月は国内株式と海外株式、海外債券のオーバーウェイト幅、国内債券のアンダーウェイト幅を共に維持しました。今後も市況変動に応じ機動的に対処する方針です。(運用責任者: 加納良樹)

■基準価額および純資産総額

| | |
|--------------|---------|
| 基準価額(1万口当たり) | 29,201円 |
| 前月末比 | +492円 |
| 純資産総額 | 7.23億円 |

■分配金実績(1万口当たり、税引前)

| 決算期 | 決算日 | 分配金 |
|-------|------------|--------|
| 第22期 | 2023/12/15 | 0円 |
| 第21期 | 2022/12/15 | 0円 |
| 第20期 | 2021/12/15 | 0円 |
| 第19期 | 2020/12/15 | 0円 |
| 第18期 | 2019/12/16 | 0円 |
| 第17期 | 2018/12/17 | 0円 |
| 設定来累計 | | 1,000円 |

■資産構成

| | 基本 資産配分 | 比率 |
|---------|------------|-------|
| 国内株式 | 30.0% | 31.1% |
| 海外株式 | 20.0% | 20.7% |
| 国内債券 | 35.0% | 31.5% |
| 海外債券 | 10.0% | 10.9% |
| コールローン他 | 5.0% | 5.8% |

■組入通貨

| 通貨 | 比率 |
|---------|-------|
| 1 日本円 | 67.6% |
| 2 米ドル | 22.9% |
| 3 ユーロ | 5.1% |
| 4 英ポンド | 1.4% |
| 5 カナダドル | 0.6% |
| その他 | 2.5% |

三菱UFJ ライフプラン50VA (適格機関投資家限定)

設定・運用
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

- 本資料は、一時払変額個人年金保険(災害2割増型)の各特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集または投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料の内容はあくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有しているわけではありません。特別勘定の運用状況については「特別勘定の運用概況」をご覧ください。
- この投資信託の値動きと特別勘定ユニット価格の値動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動に備えて一定の現預金等を保有していること、およびユニット価格の計算にあたり保険契約関係費を控除することによります。
- 本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 本資料は、三菱UFJアセットマネジメントによる運用報告を明治安田生命より提供するものであり、内容に関して明治安田生命は一切の責任を負いません。

三菱UFJ 国内株式アクティブマザーファンド

■ 基準価額の推移



・基準価額、ベンチマーク(東証株価指数(TOPIX)(配当込み))はベビーファンドの設定日を10,000として指数化しています。

■ 騰落率

| | 過去1ヵ月 | 過去3ヵ月 | 過去6ヵ月 | 過去1年 | 過去3年 | 設定来 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| ファンド | 3.3% | 15.0% | 16.4% | 36.1% | 60.5% | 459.7% |
| ベンチマーク | 4.4% | 18.1% | 20.5% | 41.3% | 52.5% | 348.3% |

・設定来(各期間の騰落率)はベビーファンドの運用期間に応じたものです。

■ 組入上位10業種

| 業種 | 比率 | ベンチマーク構成比 |
|----------|-------|-----------|
| 1 電気機器 | 16.4% | 17.4% |
| 2 輸送用機器 | 11.0% | 9.5% |
| 3 サービス業 | 9.8% | 4.5% |
| 4 機械 | 6.5% | 5.6% |
| 5 情報・通信業 | 6.4% | 7.3% |
| 6 銀行業 | 6.2% | 7.4% |
| 7 卸売業 | 5.8% | 7.4% |
| 8 保険業 | 4.7% | 2.7% |
| 9 化学 | 4.5% | 5.7% |
| 10 食料品 | 3.2% | 3.1% |

■ 組入上位10銘柄

組入銘柄数: 62銘柄

| 銘柄 | 業種 | 比率 | ベンチマーク構成比 |
|---------------------|-------|------|-----------|
| 1 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 銀行業 | 4.1% | 2.4% |
| 2 日立製作所 | 電気機器 | 3.5% | 1.7% |
| 3 三菱商事 | 卸売業 | 3.4% | 1.8% |
| 4 第一三共 | 医薬品 | 2.9% | 1.1% |
| 5 トヨタ自動車 | 輸送用機器 | 2.8% | 5.3% |
| 6 自衛堂 | 繊維製品 | 2.6% | — |
| 7 ルネサスエレクトロニクス | 電気機器 | 2.6% | 0.4% |
| 8 オリエンタルランド | サービス業 | 2.5% | 0.7% |
| 9 三井物産 | 卸売業 | 2.4% | 1.4% |
| 10 タチエス | 輸送用機器 | 2.4% | 0.0% |

・業種は、東証33業種で分類しています。・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)とは、日本の株式市場を広く網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る商標又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る商標又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

三菱UFJ 海外株式アクティブマザーファンド

■ 基準価額の推移



・基準価額、ベンチマーク(MSCIロクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース))はベビーファンドの設定日を10,000として指数化しています。

■ 騰落率

| | 過去1ヵ月 | 過去3ヵ月 | 過去6ヵ月 | 過去1年 | 過去3年 | 設定来 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| ファンド | 2.8% | 16.6% | 26.6% | 48.4% | 75.9% | 736.9% |
| ベンチマーク | 4.2% | 15.7% | 22.8% | 43.5% | 77.7% | 747.6% |

・設定来(各期間の騰落率)はベビーファンドの運用期間に応じたものです。

■ 組入上位10カ国・地域

| 国・地域 | 比率 |
|-----------|-------|
| 1 アメリカ | 77.2% |
| 2 イギリス | 3.5% |
| 3 オランダ | 3.0% |
| 4 フランス | 2.4% |
| 5 ドイツ | 2.0% |
| 6 カナダ | 1.8% |
| 7 香港 | 1.7% |
| 8 オーストラリア | 1.2% |
| 9 イタリア | 1.0% |
| 10 デンマーク | 0.9% |

■ 組入上位10業種

| 業種 | 比率 |
|--------------------|-------|
| 1 ソフトウェア・サービス | 14.8% |
| 2 半導体・半導体製造装置 | 8.9% |
| 3 メディア・娯楽 | 8.0% |
| 4 一般消費財・サービス流通・小売り | 7.4% |
| 5 金融サービス | 6.9% |
| 6 医薬品・バイオテクノ・ライフ | 6.2% |
| 7 資本財 | 5.6% |
| 8 素材 | 4.6% |
| 9 ヘルスケア機器・サービス | 4.0% |
| 10 食品・飲料・タバコ | 3.9% |

■ 組入上位10銘柄

組入銘柄数: 79銘柄

| 銘柄 | 国・地域 | 業種 | 比率 |
|------------------------------|------|------------------|------|
| 1 MICROSOFT CORP | アメリカ | ソフトウェア・サービス | 5.6% |
| 2 AMAZON.COM INC | アメリカ | 一般消費財・サービス流通・小売り | 4.7% |
| 3 META PLATFORMS INC-CLASS A | アメリカ | メディア・娯楽 | 3.7% |
| 4 NVIDIA CORP | アメリカ | 半導体・半導体製造装置 | 3.6% |
| 5 CHEVRON CORP | アメリカ | エネルギー | 3.1% |
| 6 COSTAR GROUP INC | アメリカ | 不動産管理・開発 | 2.7% |
| 7 HEICO CORP-CLASS A | アメリカ | 資本財 | 2.4% |
| 8 ROPER TECHNOLOGIES INC | アメリカ | ソフトウェア・サービス | 2.3% |
| 9 INTUITIVE SURGICAL INC | アメリカ | ヘルスケア機器・サービス | 2.2% |
| 10 SERVICENOW INC | アメリカ | ソフトウェア・サービス | 2.2% |

・国・地域は原則、主要取引所在地で分類しています。・業種は、GICS(世界産業分類基準)で分類しています。・MSCIロクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、MSCIロクサイ・インデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCIロクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。・Global Industry Classification Standard(「GICS」)は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor's)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。

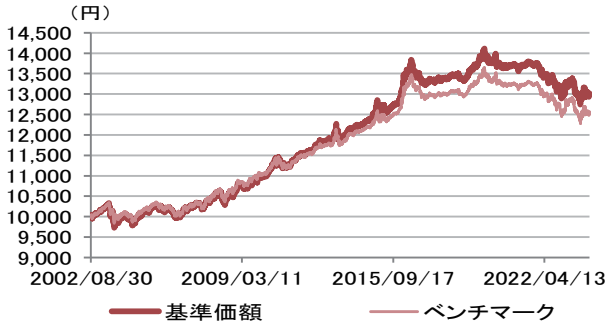
三菱UFJ ライフプラン50VA (適格機関投資家限定)

設定・運用
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

- ・本資料は、一時払変額個人年金保険(災害2割増型)の各特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集または投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・本資料の内容はあくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有しているわけではありません。特別勘定の運用状況については「特別勘定の運用概況」をご覧ください。
- ・この投資信託の値動きと特別勘定ユニット価格の値動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動に備えて一定の現預金等を保有していること、およびユニット価格の計算にあたり保険契約関係費を控除することによります。
- ・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・本資料は、三菱UFJアセットマネジメントによる運用報告を明治安田生命より提供するものであり、内容に関して明治安田生命は一切の責任を負いません。

三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド

■ 基準価額の推移



・基準価額、ベンチマーク(NOMURA-BPI<総合>(国内債券投資収益指数))はベビーファンドの設定日を10,000として指数化しています。

■ 騰落率

| | 過去1か月 | 過去3か月 | 過去6か月 | 過去1年 | 過去3年 | 設定来 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ファンド | -0.1% | -0.4% | 0.4% | -2.0% | -4.9% | 29.9% |
| ベンチマーク | -0.1% | -0.5% | 0.4% | -2.2% | -5.0% | 25.4% |

・設定来(各期間の騰落率)はベビーファンドの運用期間に応じたものです。

■ ポートフォリオ特性

| | 当月末 | 格付種類 | 比率 |
|---------|------|-------|-------|
| 最終利回り | 0.9% | AAA格 | 60.6% |
| 直接利回り | 0.8% | AA格 | 20.2% |
| デュレーション | 8.8 | A格 | 16.5% |
| | | BBB格 | 0.7% |
| | | BB格以下 | 0.0% |
| | | 無格付 | 0.0% |

■ 債券格付分布

■ 種別組入比率

| 種別 | 比率 | ベンチマーク |
|-------|-------|--------|
| 国債 | 59.5% | 84.7% |
| 地方債 | 0.0% | 6.0% |
| 政府保証債 | 0.0% | 1.3% |
| 金融債 | 2.0% | 0.3% |
| 事業債 | 27.3% | 6.1% |
| 円建外債 | 7.5% | 0.3% |
| MBS | 0.0% | 1.3% |
| ABS | 1.4% | 0.1% |

・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。・格付は、R&I、JCR、S&P、Moody'sのうち最も高い格付を表示しています。・なお、付加記号(+、-)等を省略して集計し、S&Pの格付記号に基づき表示しています。・NOMURA-BPI<総合>(国内債券投資収益指数)とは、野村フィデューシャリーリサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

■ 組入上位10銘柄

| 銘柄 | 種別 | クーポン | 償還日 | 比率 |
|------------------------------|------|---------|------------|------|
| 1 第363回利付国債(10年) | 国債 | 0.1000% | 2031/06/20 | 4.0% |
| 2 第163回利付国債(5年) | 国債 | 0.4000% | 2028/09/20 | 3.1% |
| 3 第186回利付国債(20年) | 国債 | 1.5000% | 2043/09/20 | 3.0% |
| 4 第11回ロイズ・バンキング・グループ期限前償還条項付 | 円建外債 | 1.3520% | 2029/05/25 | 2.8% |
| 5 第364回利付国債(10年) | 国債 | 0.1000% | 2031/09/20 | 2.6% |
| 6 第361回利付国債(10年) | 国債 | 0.1000% | 2030/12/20 | 2.4% |
| 7 第166回利付国債(20年) | 国債 | 0.7000% | 2038/09/20 | 2.3% |
| 8 第370回利付国債(10年) | 国債 | 0.5000% | 2033/03/20 | 2.2% |
| 9 第183回利付国債(20年) | 国債 | 1.4000% | 2042/12/20 | 2.2% |
| 10 第77回利付国債(30年) | 国債 | 1.6000% | 2052/12/20 | 2.1% |

組入銘柄数: 147銘柄

三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド

■ 基準価額の推移



・基準価額、ベンチマーク(FTSE世界国債インデックス(除く日本・円ベース))はベビーファンドの設定日を10,000として指数化しています。

■ 騰落率

| | 過去1か月 | 過去3か月 | 過去6か月 | 過去1年 | 過去3年 | 設定来 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| ファンド | 1.3% | 4.6% | 7.8% | 14.8% | 17.0% | 188.0% |
| ベンチマーク | 1.2% | 5.0% | 8.3% | 15.8% | 17.3% | 160.1% |

・設定来(各期間の騰落率)はベビーファンドの運用期間に応じたものです。

■ ポートフォリオ特性

| | 当月末 |
|---------|------|
| 最終利回り | 3.9% |
| 直接利回り | 2.5% |
| デュレーション | 7.4 |

■ 債券格付分布

| 格付種類 | 比率 |
|-------|-------|
| AAA格 | 60.4% |
| AA格 | 14.1% |
| A格 | 12.8% |
| BBB格 | 9.6% |
| BB格以下 | 0.0% |
| 無格付 | 0.0% |

■ 組入上位10カ国・地域

| 国・地域 | 比率 |
|----------|-------|
| 1 アメリカ | 49.0% |
| 2 イタリア | 8.4% |
| 3 フランス | 6.4% |
| 4 スペイン | 5.6% |
| 5 イギリス | 5.3% |
| 6 中国 | 4.4% |
| 7 スウェーデン | 2.6% |
| 8 国際機関 | 2.4% |
| 9 ポーランド | 2.0% |
| 10 ベルギー | 1.9% |

・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。・格付は、S&P、Moody'sのうち最も高い格付を表示しています。・なお、付加記号(+、-)等を省略して集計し、S&Pの格付記号に基づき表示しています。・国・地域は原則、発行地で分類しています。・FTSE世界国債インデックス(除く日本・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ 組入上位10銘柄

| 銘柄 | 種別 | クーポン | 償還日 | 国・地域 | 比率 |
|-------------------------|----|---------|------------|------|-------|
| 1 1.875 T-NOTE 290228 | 国債 | 1.8750% | 2029/02/28 | アメリカ | 10.1% |
| 2 1.25 T-NOTE 261130 | 国債 | 1.2500% | 2026/11/30 | アメリカ | 7.4% |
| 3 2.875 T-NOTE 280815 | 国債 | 2.8750% | 2028/08/15 | アメリカ | 5.6% |
| 4 4.4 ITALY GOVT 330501 | 国債 | 4.4000% | 2033/05/01 | イタリア | 4.7% |
| 5 1.625 T-NOTE 260215 | 国債 | 1.6250% | 2026/02/15 | アメリカ | 4.3% |
| 6 3.5 T-NOTE 330215 | 国債 | 3.5000% | 2033/02/15 | アメリカ | 3.8% |
| 7 1.25 O.A.T 360525 | 国債 | 1.2500% | 2036/05/25 | フランス | 3.5% |
| 8 0.8 SPAIN GOVT 290730 | 国債 | 0.8000% | 2029/07/30 | スペイン | 3.0% |
| 9 3.625 T-NOTE 300331 | 国債 | 3.6250% | 2030/03/31 | アメリカ | 2.9% |
| 10 3.625 T-BOND 530515 | 国債 | 3.6250% | 2053/05/15 | アメリカ | 2.6% |

組入銘柄数: 79銘柄

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。

三菱UFJ ライフプラン50VA (適格機関投資家限定)

設定・運用
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

- 本資料は、一時払変額個人年金保険(災害2割増型)の各特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集または投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料の内容はあくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有しているわけではありません。特別勘定の運用状況については「特別勘定の運用概況」をご覧ください。
- この投資信託の値動きと特別勘定ユニット価格の値動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動に備えて一定の現預金等を保有していること、およびユニット価格の計算にあたり保険契約関係費を控除することによります。
- 本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 本資料は、三菱UFJアセットマネジメントによる運用報告を明治安田生命より提供するものであり、内容に関して明治安田生命は一切の責任を負いません。

■運用担当者コメント(マザーファンドベース)

三菱UFJ 国内株式アクティブマザーファンド

今月の国内株式市況は、日銀が金融政策の修正を行ったものの、今後も緩やかな金融環境が継続するとの見通しを示し、金融引き締め懸念が払拭されたことなどから上昇しました。月の前半は、政策保有株の売却などを通じた資本効率改善期待から銀行株などを中心に上昇する局面もありましたが、日銀が金融緩和と政策を修正するとの懸念が高まったことなどが重石となり、一進一退で推移しました。月の後半は、日銀がマイナス金利を解除した一方で、今後も緩やかな金融環境が継続するとの見通しを示したことや、米連邦公開市場委員会(FOMC)で年内の利下げ見通しに変更がなかったことを受け、米国株が上昇したことを背景に投資家心理が改善したことなどから上昇しました。月間を通してみると、東証株価指数(TOPIX)は前月末を上回る水準で取引を終えました。

今月のファンド騰落率は、ベンチマークを下回る結果となりました。業種配分効果については、繊維製品、医薬品などがプラスに寄与、不動産業、電気・ガス業などがマイナスに影響しました。銘柄選択効果については、リソナホールディングス、ジーエス・ユアサ コーポレーションなどがプラスに寄与、大阪ソーダ、FPパートナーなどがマイナスに影響しました。今月の売買では、業績期待が高かつ割安感のある銘柄へスイッチする方針の下、新規投資を含めて楽天グループ、川崎重工業などの組入比率を引き上げました。

欧米の金融引き締め長期化による影響の見極めには時間を要するとみていることや日銀のマイナス金利解除の決定など不安材料はあるものの、緩やかな金融環境の継続が見込まれることが下支えとなり、当面の国内株式市況については底堅い展開になると考えています。

このような認識を踏まえ、当ファンドの運用コンセプトとしているボトムアップによる銘柄選択効果を更に追求すべく、リサーチに基づく企業分析に注力し、成長性とバリュエーションを考慮した銘柄選択を行っていく方針です。(運用主担当者:長尾 衛)

三菱UFJ 海外株式アクティブマザーファンド

海外株式市況は上昇しました。

米連邦公開市場委員会(FOMC)において、堅調な経済見通しが見込まれた一方で、年内の利下げ姿勢が変わらなかったことが好感され、株価は上昇しました。

外国為替市況については、円に対して米ドルは上昇(円安)しました。

4月は1-3月期の決算発表が始まり、企業業績の見通しから示唆される景気動向やインフレ見通しなどが注目されます。

このような環境のもと、投資方針は、引き続き個別銘柄選択では、株価に割安感があり、独自の成長テーマを持った銘柄に注目しています。投資国配分については、北米、欧州、アジア・オセアニアともにニュートラルとします。(運用主担当者:柳原 武士)

三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド

3月の国内金利は日銀によるマイナス金利政策解除などを背景に、短期ゾーンから5年ゾーンにかけては概ね横ばいから小幅低下、5年ゾーン以降は上昇となりました。月末の10年国債利回りは0.73%近辺となっています。また、事業債の国債とのスプレッド(利回り格差)は縮小しました。

実際の運用においては、ファンド全体のデュレーションはベンチマーク対比中立で調整しました。また、一般債については事業債および円建外債を中心にベンチマーク対比多めの保有を維持しました。

国内景気は一部に弱めの動きもみられますが緩やかに回復しています。輸出や生産は、海外経済の回復ペースの鈍化の影響を受けつつも横ばい圏内の動きとなっています。また、個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも底堅く推移しています。しかしながら、海外の経済・物価動向など懸念材料も多く、資源価格の動向などの問題もあり景気先行きの不確実性は依然として高いものと思われれます。国内債券相場は、海外金利動向、物価動向、為替動向などを脱みながら神経質な展開を予想します。国内事業債のスプレッドについてはほみ合いでの推移になるものと思われれます。以上の見通しの下、デュレーションは当面ベンチマーク対比中立を基本にリスク度合いを調整し、国債以外の一般債は事業債および円建外債を中心にベンチマーク対比多めの保有を維持する方針です。(運用主担当者:大沼 克至)

三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド

【市況動向】

当月の米独長期金利は低下しました。

米連邦公開市場委員会(FOMC)後に発表されたFOMC参加者の政策金利見通しにおいて、2024年の利下げ幅が維持されたことや、欧州中央銀行(ECB)会合にてインフレ見通しが下方修正されたことなどを背景に、米独長期金利は低下しました。為替市場では、米ドルは対円で上昇し、ユーロは対円で概ね横ばいとなりました。日銀がマイナス金利政策を解除したものの金融緩和姿勢を強調したことなどが米ドルとユーロの上昇要因となった一方、ECBのインフレ見通し引き下げなどがユーロの下落要因となりました。月を通じてみると、米ドルは対円で上昇し、ユーロは対円で概ね横ばいとなりました。投資行動としては、債券デュレーションは欧州をベンチマーク比長め、米国を同短めで維持しました。欧州圏の国別投資方針は、ドイツとフランスをベンチマーク比少なめ、イタリアとスペインを同多めで維持しました。カントリーアロケーション(通貨配分)は、米ドルとスウェーデンクローナをベンチマーク比多め、ユーロやカナダドル・中国元を同少なめで維持し、ポーランドズロチを同中立から多めでコントロールしました。

【今後の運用方針】

債券デュレーションは現行の方針を基本に機動的に調整します。通貨配分では、必要に応じて現行比率の調整を行います。(運用主担当者:船津 大輔)

特別勘定の運用概況

2024年3月31日現在

日本株式型(A)

コード:0416

明治安田生命保険相互会社

- ・本資料は「一時払変額個人年金保険(災害2割増型)」の各特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的とするものではありません。
- ・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・「一時払変額個人年金保険(災害2割増型)」は、特別勘定で運用を行なう保険商品であり、投資信託ではありません。
- ・特別勘定の運用に伴うリスク(価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、金利変動リスク等)はすべてご契約者に帰属します。

《運用方針および運用の経過》

- ・当該特別勘定の運用は、主として、追加型株式投資信託「三菱UFJ 日本株式オープンVA(適格機関投資家限定)」に投資することにより行ないます。組入比率については、高位で維持することを目指します。
- ・運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行ないました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行なう方針です。
- ・特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で+3.07%、設定来で+233.63%でした。

《特別勘定ユニット価格の推移》



| ユニット価格 | | ユニット価格変化率 | |
|-----------|-----------------|-----------|----------|
| 2024年3月末 | 33,363.27260559 | 直近1カ月 | +3.07% |
| 2024年2月末 | 32,370.20546732 | 直近3カ月 | +13.88% |
| 2024年1月末 | 31,322.81214775 | 直近6カ月 | +14.36% |
| 2023年12月末 | 29,297.05961242 | 直近1年 | +31.25% |
| 2023年11月末 | 29,466.75389910 | 直近3年 | +45.97% |
| 2023年10月末 | 27,777.86678618 | 設定来 | +233.63% |

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
 ・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《特別勘定資産の内訳》

| 区分 | 金額(百万円) | 比率(%) |
|---------|---------|-------|
| 投資信託 | 39 | 98.0 |
| 短期金融資産等 | 0 | 2.0 |
| 合計 | 40 | 100.0 |

- ・金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。
- ・比率は、特別勘定資産合計に対する割合です。また、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託：
 三菱UFJ 日本株式オープンVA
 (適格機関投資家限定)
 設定・運用：
 三菱UFJアセットマネジメント株式会社

組入れております投資信託の運用状況につきましては、次ページをご参照ください。

三菱UFJ 日本株式オープンVA (適格機関投資家限定)

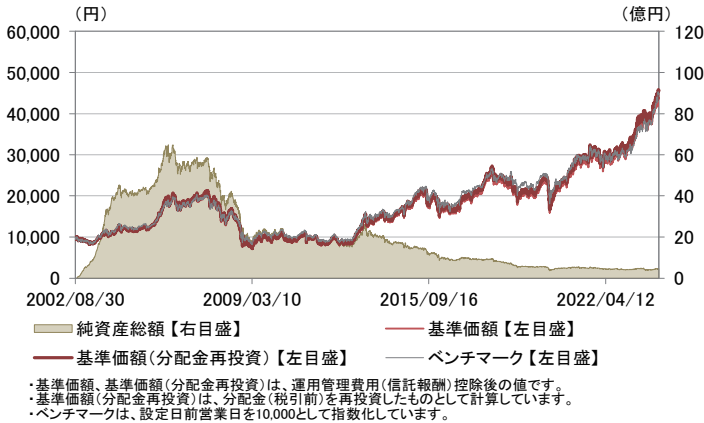
設定・運用
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

- 本資料は、一時払変額個人年金保険(災害2割増型)の各特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集または 投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料の内容はあくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有しているわけではありません。特別勘定の運用状況については「特別勘定の運用概況」をご覧ください。
- この投資信託の値動きと特別勘定ユニット価格の値動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動に備えて一定の現預金等を保有していること、およびユニット価格の計算にあたり保険契約関係費を控除することによります。
- 本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 本資料は、三菱UFJアセットマネジメントによる運用報告を明治安田生命より提供するものであり、内容に関して明治安田生命は一切の責任を負いません。

■商品概要

| | |
|--------|---|
| 形態 | 追加型株式投資信託/国内株式型(一般型) |
| 主要投資対象 | 日本の株式 |
| 運用方針 | ・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)をベンチマークとして、これを中長期的に上回る投資成果を目指します。 ・銘柄選択にあたっては、以下の2つの観点から行います。 ①中長期的な成長力の高い銘柄や業績改善度の大きい銘柄を選択 ②企業価値に対して株価が割安と判断され、かつ株価上昇が期待できる銘柄を選択 ・株式の実質組入比率は高位(通常の状態では90%以上)を基本とします。 |
| 設定日 | 2002年8月30日 |
| 信託期間 | 無期限 |
| 決算日 | 毎年2月15日(休業日の場合、翌営業日) |
| 信託報酬 | 純資産総額に対し、年率0.935%(税抜 年率0.85%) |

■基準価額および純資産総額の推移



■基準価額および純資産総額

| | |
|--------------|---------|
| 基準価額(1万口当たり) | 43,938円 |
| 前月末比 | +1,389円 |
| 純資産総額 | 4.56億円 |

■分配金実績(1万口当たり、税引前)

| 決算期 | 決算日 | 分配金 |
|-------|------------|------|
| 第22期 | 2024/02/15 | 0円 |
| 第21期 | 2023/02/15 | 0円 |
| 第20期 | 2022/02/15 | 0円 |
| 第19期 | 2021/02/15 | 0円 |
| 第18期 | 2020/02/17 | 0円 |
| 第17期 | 2019/02/15 | 0円 |
| 設定来累計 | | 600円 |

■資産構成

| | 比率 |
|---------|-------|
| 実質国内株式 | 96.9% |
| 内 現物 | 96.9% |
| 内 先物 | 0.0% |
| コールローン他 | 3.1% |

■騰落率

| | 過去1ヵ月 | 過去3ヵ月 | 過去6ヵ月 | 過去1年 | 過去3年 | 設定来 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| ファンド | 3.3% | 14.7% | 15.6% | 34.4% | 55.5% | 357.2% |
| ベンチマーク | 4.4% | 18.1% | 20.5% | 41.3% | 52.5% | 350.2% |

- 実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
- また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- 設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
- 分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

■組入上位10業種

| 業種 | 比率 | ベンチマーク 構成比 |
|----------|-------|---------------|
| 1 電気機器 | 16.3% | 17.4% |
| 2 輸送用機器 | 11.0% | 9.5% |
| 3 サービス業 | 9.8% | 4.5% |
| 4 機械 | 6.5% | 5.6% |
| 5 情報・通信業 | 6.4% | 7.3% |
| 6 銀行業 | 6.2% | 7.4% |
| 7 卸売業 | 5.8% | 7.4% |
| 8 保険業 | 4.6% | 2.7% |
| 9 化学 | 4.5% | 5.7% |
| 10 食料品 | 3.2% | 3.1% |

■組入上位10銘柄

| 銘柄 | 業種 | 比率 | ベンチマーク 構成比 |
|---------------------|-------|------|---------------|
| 1 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 銀行業 | 4.1% | 2.4% |
| 2 日立製作所 | 電気機器 | 3.5% | 1.7% |
| 3 三菱商事 | 卸売業 | 3.4% | 1.8% |
| 4 第一三共 | 医薬品 | 2.8% | 1.1% |
| 5 トヨタ自動車 | 輸送用機器 | 2.8% | 5.3% |
| 6 自衛堂 | 繊維製品 | 2.6% | — |
| 7 ルネサスエレクトロニクス | 電気機器 | 2.6% | 0.4% |
| 8 オリエンタルランド | サービス業 | 2.5% | 0.7% |
| 9 三井物産 | 卸売業 | 2.4% | 1.4% |
| 10 タチエス | 輸送用機器 | 2.4% | 0.0% |

■運用担当者コメント(マザーファンドベース)

今月の国内株式市況は、日銀が金融政策の修正を行ったものの、今後も緩やかな金融環境が継続するとの見通しを示し、金融引き締め懸念が払拭されたことなどから上昇しました。月の前半は、政策保有株の売却などを通じた資本効率改善期待から銀行株などを中心に上昇する局面もありましたが、日銀が金融緩和と政策を修正するとの懸念が高まったことなどが重石となり、一進一退で推移しました。月の後半は、日銀がマイナス金利を解除した一方で、今後も緩やかな金融環境が継続するとの見通しを示したことや、米連邦公開市場委員会(FOMC)で年内の利下げ見通しに変更がなかったことを受け、米国株が上昇したことを背景に投資家心理が改善したことなどから上昇しました。月間を通してみると、東証株価指数(TOPIX)は前月末を上回る水準で取引を終えました。

今月のファンド騰落率は、ベンチマークを下回る結果となりました。業種配分効果については、繊維製品、医薬品などがプラスに寄与、不動産業、電気・ガス業などがマイナスに影響しました。銘柄選択効果については、リソナホールディングス、ジーエス・ユアサ コーポレーションなどがプラスに寄与、大阪ソーダ、FPパートナーなどがマイナスに影響しました。今月の売買では、業績期待が高かつ割安感のある銘柄へスイッチする方針の下、新規投資を含めて楽天グループ、川崎重工工業などの組入比率を引き上げました。

欧米の金融引き締め長期化による影響の見極めには時間を要するとみていることや日銀のマイナス金利解除の決定など不安材料はあるものの、緩やかな金融環境の継続が見込まれることが下支えとなり、当面の国内株式市況については底堅い展開になると考えています。

このような認識を踏まえ、当ファンドの運用コンセプトとしているボトムアップによる銘柄選択効果を更に追求すべく、リサーチに基づく企業分析に注力し、成長性とバリュエーションを考慮した銘柄選択を行っていく方針です。(運用主担当者:長尾 衛)

本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を約束するものではありません。表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・業種は、東証30業種で分類しています。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)とは、日本の株式市場を広く網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

特別勘定の運用概況

2024年3月31日現在

日本株式型(B)

コード:0417

明治安田生命保険相互会社

- ・本資料は「一時払変額個人年金保険(災害2割増型)」の各特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的とするものではありません。
- ・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・「一時払変額個人年金保険(災害2割増型)」は、特別勘定で運用を行なう保険商品であり、投資信託ではありません。
- ・特別勘定の運用に伴うリスク(価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、金利変動リスク等)はすべてご契約者に帰属します。

《運用方針および運用の経過》

- ・当該特別勘定の運用は、主として、追加型投信「明治安田VA日本株式オープン(適格機関投資家私募)」に投資することにより行ないます。組入比率については、高位で維持することを目指します。
- ・運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行ないました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行なう方針です。
- ・特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で+1.19%、設定来で+144.98%でした。

《特別勘定ユニット価格の推移》



| ユニット価格 | | ユニット価格変化率 | |
|-----------|-----------------|-----------|----------|
| 2024年3月末 | 24,497.50669769 | 直近1カ月 | +1.19% |
| 2024年2月末 | 24,208.27996536 | 直近3カ月 | +10.55% |
| 2024年1月末 | 23,082.66784483 | 直近6カ月 | +16.63% |
| 2023年12月末 | 22,159.17346561 | 直近1年 | +28.43% |
| 2023年11月末 | 21,791.40678864 | 直近3年 | +15.34% |
| 2023年10月末 | 20,239.45701940 | 設定来 | +144.98% |

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
 ・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《特別勘定資産の内訳》

| 区分 | 金額(百万円) | 比率(%) |
|---------|---------|-------|
| 投資信託 | 31 | 97.7 |
| 短期金融資産等 | 0 | 2.3 |
| 合計 | 31 | 100.0 |

- ・金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。
- ・比率は、特別勘定資産合計に対する割合です。また、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託:
 明治安田VA日本株式オープン
 (適格機関投資家私募)
 設定・運用:
 明治安田アセットマネジメント株式会社

組入れております投資信託の運用状況につきましては、次ページをご参照ください。

明治安田VA日本株式オープン(適格機関投資家私募)

・本資料は、一時払変額個人年金保険(災害2割増型)の各特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集または投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・本資料の内容はあくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有しているわけではありません。特別勘定の運用状況については「特別勘定の運用概況」をご覧ください。
 ・この投資信託の値動きと特別勘定ユニット価格の値動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動に備えて一定の現預金等を保有していること、およびユニット価格の計算にあたり保険契約関係費を控除することによります。
 ・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・本資料は、明治安田アセットマネジメントによる運用報告を明治安田生命より提供するものであり、内容に関して明治安田生命は一切の責任を負いません。

ファンドの投資方針・特色

- 当ファンドは主として明治安田日本株式ポートフォリオ・マザーファンドと明治安田中小型株式ポートフォリオ・マザーファンドの2つのマザーファンドに投資することによって、実質的にわが国の株式に投資します。
- 年金運用で培ったリスクコントロール手法を活用して、ボトムアップ・リサーチによる銘柄選定を行い、東証株価指数(TOPIX)を上回る投資成果を目指すファンドです。
 ※ 東証株価指数(TOPIX)に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。また同社は当ファンドの運用成果等に関し、一切責任はございません。
- リサーチを最重要視しファンダメンタル分析、ボトムアップ型リサーチに基づく成長株への投資を行います。

ファンド概況

【信託財産の状況】

| | 2024/2末 | 2024/3末 |
|----------|---------|---------|
| 国内株式(現物) | 98.55% | 96.91% |
| 株式先物 | — | — |
| 短期金融資産等 | 1.45% | 3.09% |
| 組入総銘柄数 | 113 | 115 |

※マザーファンドへの投資を通じた対純資産総額の比率、銘柄数です。なお、それぞれのマザーファンドで同一銘柄を保有している場合は1銘柄として計算しています。
 ※資金流入等により、「国内株式(現物)」が100%を超える場合があります。

【マザーファンドの組入状況】

| | 2024/2末 | 2024/3末 |
|------------------|---------|---------|
| 日本株式ポートフォリオ・マザー | 90.64% | 90.44% |
| 中小型株式ポートフォリオ・マザー | 8.88% | 9.15% |

※対純資産総額比

【分配金の実績】

| 第18期 | 第19期 | 第20期 | 第21期 | 第22期 | 設定来 |
|------|------|------|------|------|-----|
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 |

※分配金は、10,000口あたりの金額(円) ※分配金は増減したり、支払われないことがあります。

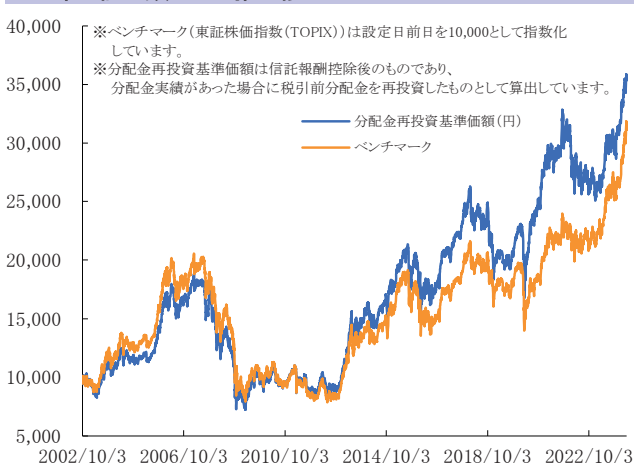
組入株式の状況

【組入上位10銘柄】

| | 銘柄名 | 業種 | 組入比率 |
|----|----------------|--------|-------|
| 1 | 東京エレクトロン | 電気機器 | 3.12% |
| 2 | SCREENホールディングス | 電気機器 | 3.08% |
| 3 | アドバンテスト | 電気機器 | 2.91% |
| 4 | カブコン | 情報・通信業 | 2.79% |
| 5 | 大塚商会 | 情報・通信業 | 2.55% |
| 6 | キーエンス | 電気機器 | 2.54% |
| 7 | KDDI | 情報・通信業 | 2.47% |
| 8 | 大東建託 | 不動産業 | 2.32% |
| 9 | 三井物産 | 卸売業 | 2.31% |
| 10 | アイシン | 輸送用機器 | 2.29% |

※マザーファンドへの投資を通じた対純資産総額比

基準価額の推移



【基準価額および純資産総額】

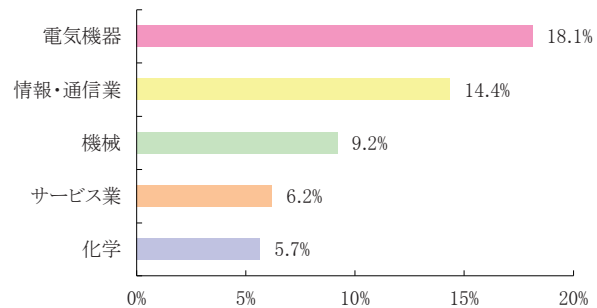
| | 2024/2末 | 2024/3末 |
|------------|---------|---------|
| 基準価額(円) | 35,055 | 35,529 |
| 純資産総額(百万円) | 72 | 72 |

【基準価額の騰落率】

| | ファンド | ベンチマーク | 差 |
|-------|---------|---------|---------|
| 直近1カ月 | 1.35% | 3.47% | △2.12% |
| 直近3カ月 | 11.27% | 17.00% | △5.73% |
| 直近6カ月 | 18.04% | 19.16% | △1.12% |
| 直近1年 | 31.54% | 38.19% | △6.65% |
| 直近3年 | 21.31% | 41.69% | △20.38% |
| 設定来 | 255.75% | 213.34% | 42.41% |

※基準価額の騰落率は分配金再投資基準価額で算出しています。

【組入上位5業種】



※マザーファンドへの投資を通じた対純資産総額比

運用経過・今後の投資方針等について

<運用経過>

国内株式相場において、東証株価指数(TOPIX)は上昇しました。日銀がマイナス金利政策を早期に解除するとの見方が重しとなり、月半ばには下押し場面がありました。その後、日銀が金融政策決定会合でマイナス金利政策を解除するとの観測報道が相次ぎ、懸念材料の織り込みが進んだことに加え、引き続き緩和的な金融環境を維持する姿勢を示したこと、米国においてはFRB(米連邦準備制度理事会)が年内で複数回の利下げ見通しを維持したこともあり、上昇しました。こうした中、明治安田日本株式ポートフォリオ・マザーファンドでは、自動車照明メーカーや、人材紹介中堅会社などを売却した一方、総合商社や、自動車部品大手メーカーなどを新たに組み入れました。明治安田中小型株式ポートフォリオ・マザーファンドにおいては、販促分野で人工知能を活用したサービスを開発・提供する会社や、Vチューバープロダクション運営企業などを売却した一方、結婚式企画運営会社や、都市ガス大手などを新たに組み入れました。

<今後の投資方針>

明治安田日本株式ポートフォリオ・マザーファンドでは、バリュエーションに留意し、高い成長性とマネジメントクオリティを有する企業に投資する方針です。個別銘柄と産業分析を重視して銘柄選択を行い、TOPIXを上回る運用成果を目指します。明治安田中小型株式ポートフォリオ・マザーファンドでは、企業訪問などによるボトムアップリサーチにより、独自の技術や戦略で需要を創造することで中長期的に利益成長が期待できる企業を選別し、財務健全性や株価水準にも配慮しつつ機動的な運用を行います。

- 当ファンドは、直接あるいはマザーファンドを通じて間接的に、主に国内の株式に投資し、それらの値動き等により基準価額は変動します。また、株式発行者の信用状況の変化等により基準価額は変動します。当ファンドの運用による損益は全て投資者に帰属します。したがって、投資元金を割り込むことがあります。
- 本資料に記載された過去の運用実績に関する数値、図表、グラフその他いかなる内容も将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、本資料に記載された市場やポートフォリオの見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や運用の成果を示唆するものではありません。また予告なしに変更することもあります。

特別勘定の運用概況

2024年3月31日現在

日本株式型(C)

コード:0418

明治安田生命保険相互会社

- ・本資料は「一時払変額個人年金保険(災害2割増型)」の各特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的とするものではありません。
- ・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・「一時払変額個人年金保険(災害2割増型)」は、特別勘定で運用を行なう保険商品であり、投資信託ではありません。
- ・特別勘定の運用に伴うリスク(価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、金利変動リスク等)はすべてご契約者に帰属します。

《運用方針および運用の経過》

- ・当該特別勘定の運用は、主として、追加型株式投資信託「フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3(適格機関投資家専用)」に投資することにより行ないます。組入比率については、高位で維持することを目指します。
- ・運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行ないました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行なう方針です。
- ・特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で+3.66%、設定来で+237.24%でした。

《特別勘定ユニット価格の推移》



| ユニット価格 | | ユニット価格変化率 | |
|-----------|-----------------|-----------|----------|
| 2024年3月末 | 33,723.98986850 | 直近1カ月 | +3.66% |
| 2024年2月末 | 32,532.32345598 | 直近3カ月 | +13.27% |
| 2024年1月末 | 31,425.23842474 | 直近6カ月 | +15.42% |
| 2023年12月末 | 29,774.10396549 | 直近1年 | +25.56% |
| 2023年11月末 | 29,803.26556144 | 直近3年 | +23.05% |
| 2023年10月末 | 28,042.02599379 | 設定来 | +237.24% |

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
 ・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《特別勘定資産の内訳》

| 区分 | 金額(百万円) | 比率(%) |
|---------|---------|-------|
| 投資信託 | 34 | 96.6 |
| 短期金融資産等 | 1 | 3.4 |
| 合計 | 36 | 100.0 |

- ・金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。
- ・比率は、特別勘定資産合計に対する割合です。また、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託:
 フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3
 (適格機関投資家専用)
 設定・運用:
 フィデリティ投信株式会社

組入れております投資信託の運用状況につきましては、次ページをご参照ください。

フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3 (適格機関投資家専用)

・本資料は、一時払変額個人年金保険(災害2割増型)の各特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集または投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・本資料の内容はあくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有してはなりません。特別勘定の運用状況については「特別勘定の運用概況」をご覧ください。
 ・この投資信託の値動きと特別勘定ユニット価格の値動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動に備えて一定の現預金等を保有していること、およびユニット価格の計算にあたり保険契約関係費を控除することによります。
 ・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・本資料は、フィデリティ投信による運用報告を明治安田生命より提供するものであり、内容に関して明治安田生命は一切の責任を負いません。

- ① 主として日本株を投資対象とします。
- ② 個別企業分析により、成長企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行いません。

設定来の運用実績 (2024年3月29日現在)



※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。※基準価額は運用管理費用控除後のものです。※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

コメント (2024年3月29日現在)

当月の東京株式市場は、日銀のマイナス金利政策が解除されてデフレ脱却期待が高まり、日経平均株価は史上最高値を更新しました。前月からの上昇の勢いを受け継ぎ、日経平均株価は月初に史上初となる4万円の台に到達しました。その後は半導体株の下落や、日銀の政策変更を睨んで円高が進んだことなどがマイナス要因となって反落を強いられましたが、春闘で昨年よりも高い賃上げ率が確認されてデフレ脱却期待が高まると、市場で日銀の政策転換の織り込みが進み、株価は力強く上昇しました。日銀はマイナス金利や長短金利操作、上場投資信託買い入れなどの政策の終了を決定した上で、緩和的な金融環境を継続すると強調した一方、米連邦準備制度理事会は年内3回の利下げを行う方針を維持し、日米の金融政策決定会合が大方の事前想定通りに通過したことが株価を一段と押し上げました。日経平均株価は一時41,000円台に乗せるなど、終値で史上最高値を再び更新した後、月末にかけては利益確定売りや3月期決算企業の配当落ちの影響などからやや調整しましたが、そのまま4万円台を維持して月を終えました。月間の騰落率は、TOPIX(配当込)が+4.44%、日経平均株価は+3.07%でした。

※上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。

ポートフォリオの状況 (マザーファンド・ベース) (2024年2月29日現在)

資産別組入状況

| | |
|---------------|-------|
| 株式 | 99.0% |
| 新株予約権証券(ワラント) | - |
| 投資信託・投資証券 | - |
| 現金・その他 | 1.0% |

市場別組入状況

| | |
|----------|-------|
| 東証プライム | 96.4% |
| 東証スタンダード | 2.0% |
| 東証グロース | 0.5% |
| その他市場 | - |

組入上位5業種

| | |
|-------|-------|
| 電気機器 | 22.1% |
| 銀行業 | 8.5% |
| 化学 | 7.9% |
| 輸送用機器 | 7.5% |
| 卸売業 | 6.3% |

(対純資産総額比率)

- * 各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。
- * 業種は東証33業種に準じて表示しています。
- * 未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、ファンドの推奨(有価証券の勧誘)を目的としたものではありません。本資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、厳密な意味での正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

商品概要

| | |
|------|--------------------------|
| 形態 | 追加型投信/国内/株式 |
| 投資対象 | わが国の株式等 |
| 設定日 | 2001年11月29日 |
| 信託期間 | 原則無期限 |
| 決算日 | 原則、毎年11月30日(休業日のときは翌営業日) |

累積リターン

| | 直近1ヶ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|--------|-------|--------|--------|--------|--------|---------|
| ファンド | 3.93% | 14.26% | 16.98% | 28.36% | 29.10% | 307.45% |
| ベンチマーク | 4.44% | 18.14% | 20.55% | 41.34% | 52.53% | 303.09% |

※ 累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。

※ ベンチマーク: TOPIX(配当込)

* TOPIX(配当込)は、日本の株式市場を広く網羅するとともに投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されており、配当を考慮したものです。

* 東証株価指数(TOPIX)(以下「TOPIX」という。)の指数値及びTOPIXに係る商標又は商標は、株式会社JPM総研又は株式会社JPM総研の関連会社(以下「JPM」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る商標又は商標に関するすべての権利はJPMが有します。JPMは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPMにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPMは責任を負いません。

過去5期分の収益分配金(1万口当たり/税込)

| | |
|------------------|----|
| 第18期(2019.12.02) | 0円 |
| 第19期(2020.11.30) | 0円 |
| 第20期(2021.11.30) | 0円 |
| 第21期(2022.11.30) | 0円 |
| 第22期(2023.11.30) | 0円 |

純資産総額 1,475.5 億円 (2024年3月29日現在)

組入上位10銘柄 (マザーファンド・ベース) (2024年2月29日現在)

| 順位 | 銘柄 | 業種 | 比率 |
|----|-------------------|-------|------|
| 1 | 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 銀行業 | 4.0% |
| 2 | キーエンス | 電気機器 | 3.9% |
| 3 | 東京エレクトロン | 電気機器 | 3.8% |
| 4 | ソニーグループ | 電気機器 | 3.3% |
| 5 | 三井住友フィナンシャルグループ | 銀行業 | 3.1% |
| 6 | 日立製作所 | 電気機器 | 3.1% |
| 7 | 伊藤忠商事 | 卸売業 | 3.0% |
| 8 | 信越化学工業 | 化学 | 2.9% |
| 9 | トヨタ自動車 | 輸送用機器 | 2.4% |
| 10 | 東京海上ホールディングス | 保険業 | 2.1% |

(組入銘柄数: 178) 上位10銘柄合計 31.6% (対純資産総額比率)

特別勘定の運用概況

2024年3月31日現在

海外株式型(A)

コード:0420

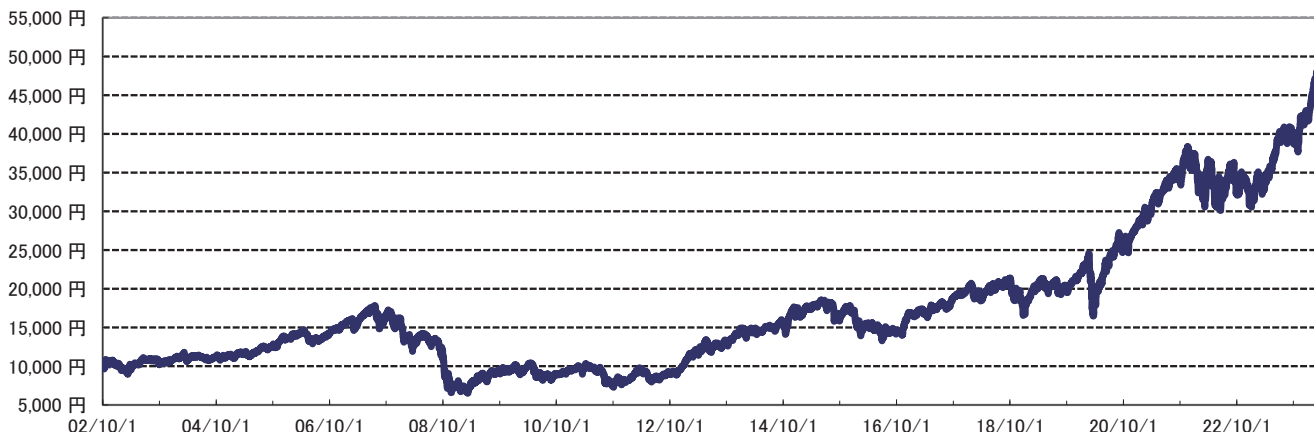
明治安田生命保険相互会社

- ・本資料は「一時払変額個人年金保険(災害2割増型)」の各特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的とするものではありません。
- ・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・「一時払変額個人年金保険(災害2割増型)」は、特別勘定で運用を行なう保険商品であり、投資信託ではありません。
- ・特別勘定の運用に伴うリスク(価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、金利変動リスク等)はすべてご契約者に帰属します。

《運用方針および運用の経過》

- ・当該特別勘定の運用は、主として、追加型株式投資信託「三菱UFJ 海外株式オープンVA(適格機関投資家限定)」に投資することにより行ないます。組入比率については、高位で維持することを目指します。
- ・運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行ないました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行なう方針です。
- ・特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で+2.58%、設定来で+391.04%でした。

《特別勘定ユニット価格の推移》



| ユニット価格 | | ユニット価格変化率 | |
|-----------|-----------------|-----------|----------|
| 2024年3月末 | 49,103.54099184 | 直近1カ月 | +2.58% |
| 2024年2月末 | 47,866.97838950 | 直近3カ月 | +15.56% |
| 2024年1月末 | 45,136.23116309 | 直近6カ月 | +24.58% |
| 2023年12月末 | 42,491.69542282 | 直近1年 | +43.52% |
| 2023年11月末 | 41,659.88233389 | 直近3年 | +61.83% |
| 2023年10月末 | 37,668.97879119 | 設定来 | +391.04% |

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
 ・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《特別勘定資産の内訳》

| 区分 | 金額(百万円) | 比率(%) |
|---------|---------|-------|
| 投資信託 | 91 | 98.8 |
| 短期金融資産等 | 1 | 1.2 |
| 合計 | 92 | 100.0 |

- ・金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。
- ・比率は、特別勘定資産合計に対する割合です。また、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託:
 三菱UFJ 海外株式オープンVA
 (適格機関投資家限定)
 設定・運用:
 三菱UFJアセットマネジメント株式会社

組入れております投資信託の運用状況につきましては、次ページをご参照ください。

三菱UFJ 海外株式オープンVA (適格機関投資家限定)

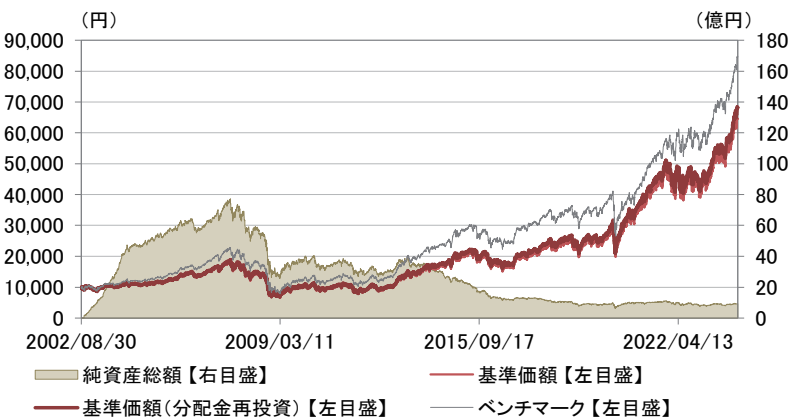
設定・運用
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

- 本資料は、一時払変額個人年金保険(災害2割増型)の各特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集または投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料の内容はあくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有しているわけではありません。特別勘定の運用状況については「特別勘定の運用概況」をご覧ください。
- この投資信託の値動きと特別勘定ユニット価格の値動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動に備えて一定の現預金等を保有していること、およびユニット価格の計算にあたり保険契約関係費を控除することによります。
- 本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 本資料は、三菱UFJアセットマネジメントによる運用報告を明治安田生命より提供するものであり、内容に関して明治安田生命は一切の責任を負いません。

商品概要

| | |
|--------|--|
| 形態 | 追加型株式投資信託/国際株式型(一般型) |
| 主要投資対象 | 日本を除く世界主要国の株式 |
| 運用方針 | ・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)をベンチマークとして、これを中長期的に上回る投資成果を目指します。 ・カンントリーアロケーションと銘柄選択の双方におけるアクティブ戦略により、超過収益の獲得を目指します。 ・実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。 ただし、エクスポートジャーのコントロール等を目的として為替予約取引等を活用する場合があります。 ・株式の実質組入比率は高位(通常の状態では90%以上)を基本とします。 |
| 設定日 | 2002年8月30日 |
| 信託期間 | 無期限 |
| 決算日 | 毎年12月15日(休業日の場合、翌営業日) |
| 信託報酬 | 純資産総額に対し、年率0.935%(税込) 年率0.85% |

基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

騰落率

| | 過去1か月 | 過去3か月 | 過去6か月 | 過去1年 | 過去3年 | 設定来 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| ファンド | 2.7% | 16.2% | 26.0% | 46.9% | 70.8% | 582.3% |
| ベンチマーク | 4.2% | 15.7% | 22.8% | 43.5% | 77.7% | 747.6% |

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

組入上位10カ国・地域

| 国・地域 | 比率 |
|-----------|-------|
| 1 アメリカ | 77.0% |
| 2 イギリス | 3.5% |
| 3 オランダ | 3.0% |
| 4 フランス | 2.4% |
| 5 ドイツ | 2.0% |
| 6 カナダ | 1.7% |
| 7 香港 | 1.7% |
| 8 オーストラリア | 1.2% |
| 9 イタリア | 1.0% |
| 10 デンマーク | 0.9% |

組入上位10業種

| 業種 | 比率 |
|--------------------|-------|
| 1 ソフトウェア・サービス | 14.7% |
| 2 半導体・半導体製造装置 | 8.9% |
| 3 メディア・娯楽 | 7.9% |
| 4 一般消費財・サービス流通・小売り | 7.4% |
| 5 金融サービス | 6.8% |
| 6 医薬品・バイオテクノ・ライフ | 6.2% |
| 7 資本財 | 5.6% |
| 8 素材 | 4.6% |
| 9 ヘルスケア機器・サービス | 4.0% |
| 10 食品・飲料・タバコ | 3.9% |

組入上位10銘柄

| 銘柄 | 国・地域 | 業種 | 比率 | ベンチマーク構成比 |
|------------------------------|------|------------------|------|-----------|
| 1 MICROSOFT CORP | アメリカ | ソフトウェア・サービス | 5.5% | 4.9% |
| 2 AMAZON.COM INC | アメリカ | 一般消費財・サービス流通・小売り | 4.7% | 2.8% |
| 3 META PLATFORMS INC-CLASS A | アメリカ | メディア・娯楽 | 3.7% | 1.8% |
| 4 NVIDIA CORP | アメリカ | 半導体・半導体製造装置 | 3.6% | 3.7% |
| 5 CHEVRON CORP | アメリカ | エネルギー | 3.1% | 0.5% |
| 6 COSTAR GROUP INC | アメリカ | 不動産管理・開発 | 2.7% | 0.1% |
| 7 HEICO CORP-CLASS A | アメリカ | 資本財 | 2.4% | 0.0% |
| 8 ROPER TECHNOLOGIES INC | アメリカ | ソフトウェア・サービス | 2.3% | 0.1% |
| 9 INTUITIVE SURGICAL INC | アメリカ | ヘルスケア機器・サービス | 2.2% | 0.2% |
| 10 SERVICENOW INC | アメリカ | ソフトウェア・サービス | 2.2% | 0.3% |

運用担当者コメント(マザーファンドベース)

海外株式市況は上昇しました。
米連邦公開市場委員会(FOMC)において、堅調な経済見通しが示された一方で、年内の利下げ姿勢が変わらなかったことが好感され、株価は上昇しました。
外国為替市況については、円に対して米ドルは上昇(円安)しました。
4月は1-3月期の決算発表が始まり、企業業績の見通しから示唆される景気動向やインフレ見通しなどが注目されます。
このような環境のもと、投資方針は、引き続き個別銘柄選択では、株価に割安感があり、独自の成長テーマを持った銘柄に注目しています。投資国配分については、北米、欧州、アジア・オセアニアともにニュートラルとします。(運用主担当者:柳原 武士)

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。・国・地域は原則、主要取引所所在地で分類しています。・業種は、GICS(世界産業分類基準)で分類しています。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。・Global Industry Classification Standard("GICS")は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor's)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

特別勘定の運用概況

2024年3月31日現在

海外債券型(A)

コード:0422

明治安田生命保険相互会社

- ・本資料は「一時払変額個人年金保険(災害2割増型)」の各特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的とするものではありません。
- ・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・「一時払変額個人年金保険(災害2割増型)」は、特別勘定で運用を行なう保険商品であり、投資信託ではありません。
- ・特別勘定の運用に伴うリスク(価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、金利変動リスク等)はすべてご契約者に帰属します。

《運用方針および運用の経過》

- ・当該特別勘定の運用は、主として、追加型投信「明治安田VA外国債券オープン(適格機関投資家私募)」に投資することにより行ないます。組入比率については、高位で維持することを目指します。
- ・運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行ないました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行なう方針です。
- ・特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で+1.10%、設定来で+55.09%でした。

《特別勘定ユニット価格の推移》



| ユニット価格 | | ユニット価格変化率 | |
|-----------|-----------------|-----------|---------|
| 2024年3月末 | 15,508.79386647 | 直近1カ月 | +1.10% |
| 2024年2月末 | 15,339.34255088 | 直近3カ月 | +3.62% |
| 2024年1月末 | 15,185.98816070 | 直近6カ月 | +6.76% |
| 2023年12月末 | 14,966.66841002 | 直近1年 | +12.22% |
| 2023年11月末 | 14,929.20273032 | 直近3年 | +10.05% |
| 2023年10月末 | 14,457.66006088 | 設定来 | +55.09% |

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
 ・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《特別勘定資産の内訳》

| 区分 | 金額(百万円) | 比率(%) |
|---------|---------|-------|
| 投資信託 | 13 | 97.7 |
| 短期金融資産等 | 0 | 2.3 |
| 合計 | 13 | 100.0 |

- ・金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。
- ・比率は、特別勘定資産合計に対する割合です。
- また、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託：
 明治安田VA外国債券オープン
 (適格機関投資家私募)
 設定・運用：
 明治安田アセットマネジメント株式会社

組入れております投資信託の運用状況につきましては、次ページをご参照ください。

明治安田VA外国債券オープン(適格機関投資家私募)

・本資料は、一時払変額個人年金保険(災害2割増型)の各特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集または投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・本資料の内容はあくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有しているわけではありません。特別勘定の運用状況については「特別勘定の運用概況」をご覧ください。
 ・この投資信託の値動きと特別勘定ユニット価格の値動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動に備えて一定の現預金等を保有していること、およびユニット価格の計算にあたり保険契約関係費を控除することによります。
 ・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・本資料は、明治安田アセットマネジメントによる運用報告を明治安田生命より提供するものであり、内容に関して明治安田生命は一切の責任を負いません。

ファンドの投資方針・特色

- 当ファンドは、主として「明治安田外国債券ポートフォリオ・マザーファンド」を通じて世界各国(日本を除く)の公社債へ投資し、信託財産の長期的な成長を目指します。
- 債券市場は、長期的には経済のファンダメンタルズによって変動するという考えを基本とし、ファンダメンタルズ分析を重視したアクティブ運用を行います。なお、原則、為替ヘッジは行いません。
- FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとし、これを中長期的に上回る運用成果を目指します。
 ※ FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

ファンド概況

【信託財産の状況】

| | 2024/2末 | 2024/3末 |
|---------|---------|---------|
| 外国債券 | 98.00% | 98.16% |
| 短期金融資産等 | 2.00% | 1.84% |
| 組入銘柄数 | 77 | 74 |
| デュレーション | 7.21年 | 7.24年 |
| 残存年数 | 9.43年 | 9.38年 |
| 複利最終利回り | 3.91% | 3.76% |

※マザーファンドへの投資を通じた対純資産総額の比率、銘柄数です。「デュレーション」、「残存年数」、「複利最終利回り」は、最初の繰上償還可能日を基準に計算しています。

【基準価額および純資産総額】

| | 2024/2末 | 2024/3末 |
|------------|---------|---------|
| 基準価額(円) | 21,448 | 21,718 |
| 純資産総額(百万円) | 13 | 13 |

【基準価額の騰落率】

| | ファンド | ベンチマーク | 差 |
|-------|---------|---------|---------|
| 直近1カ月 | 1.26% | 1.20% | 0.06% |
| 直近3カ月 | 4.10% | 5.04% | △0.94% |
| 直近6カ月 | 7.76% | 8.29% | △0.53% |
| 直近1年 | 14.36% | 15.80% | △1.44% |
| 直近3年 | 15.04% | 17.31% | △2.27% |
| 設定来 | 117.69% | 145.14% | △27.45% |

※基準価額の騰落率は分配金再投資基準価額で算出しています。

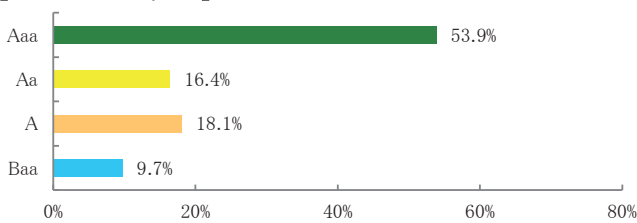
【分配金の実績】

| 第18期 | 第19期 | 第20期 | 第21期 | 第22期 | 設定来 |
|------|------|------|------|------|-----|
| 0円 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 | 30円 |

※分配金は、10,000円あたりの金額(円)。分配金は増減したり、支払われないことがあります。

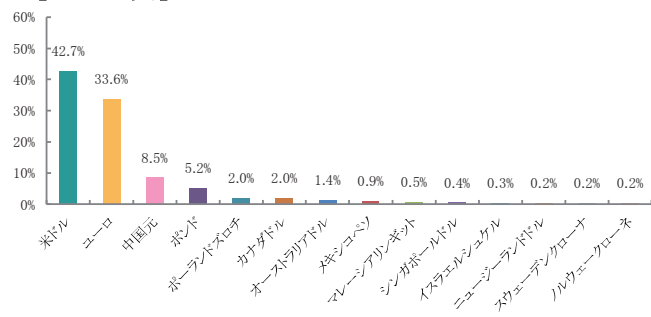
組入債券の状況

【格付別組入状況】



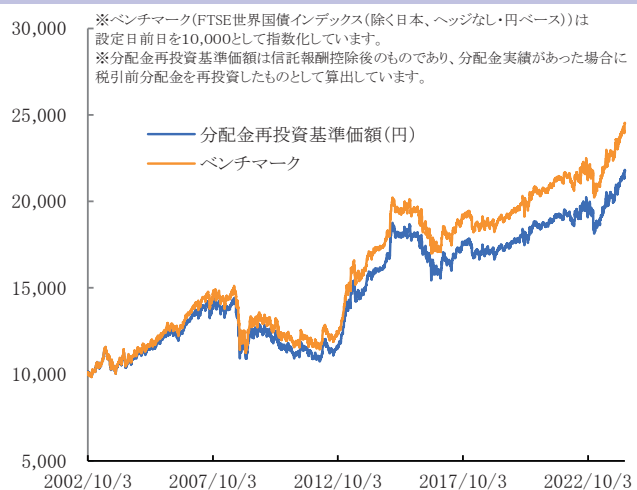
※上記比率はマザーファンドへの投資を通じた対純資産総額比
 ※上記の格付についてはムーディーズ・インベスターズサービスによる格付を採用
 ※「Baa」の銘柄は、A格相当以上の格付を有すると判断し、保有しています

【組入通貨】



※上記比率はマザーファンドへの投資を通じた対純資産総額比

基準価額の推移



運用経過・今後の投資方針等について

＜運用経過＞
【投資環境】
 ・**米国:** 長期金利は前月末比で小幅に低下しました。FRB(米連邦準備制度理事会)による早期の利下げ観測から低下して始まった後、中旬にはインフレが再燃すると一部の見方から上昇する場面がありました。その後はFOMC(米連邦公開市場委員会)で年内の利下げ見通しが維持されたことから、再び低下しました。
 ・**欧州(ドイツ):** 長期金利は前月末比で低下しました。上旬はECB(欧州中央銀行)が年内に複数回の利下げを行うとの見方が広がりました。その後中旬には米国長期金利の動きに連れて上昇する場面がありましたが、スイス中央銀行が他の中央銀行に先駆けて利下げを決定したこともあり、再び低下しました。
 ・**米ドル:** 対円が前月末比上昇(円安ドル高)しました。上旬はFRBによる早期利下げ観測の強まりや、日銀による金融政策の正常化を意識した円を買う動きから下落しました。その後、日銀金融政策決定会合ではマイナス金利の解除が発表されましたが、緩和的な金融政策の長期化観測を背景とする日米金利差の拡大が続くとの見方が強まり、上昇しました。
 ・**ユーロ:** 対円が前月末比ほぼ同水準となりました。上旬はECB理事会で物価見通しが引き下げられ、早期の利下げ観測が強まったことや、日銀による金融政策の正常化を意識した円を買う動きから下落しました。その後、日銀金融政策決定会合ではマイナス金利の解除が発表されましたが、緩和的な金融政策の長期化観測を背景とする日欧金利差の拡大が続くとの見方が強まり、上昇しました。
【投資行動】
 通貨別配分はベンチマークに対してユーロ、ポーランドズロチをオーバーウェイト、米ドル、デンマーククローネをアンダーウェイトとしました。デュレーション戦略は国別には機動的に調整しつつ、ポートフォリオ全体では長期化としました。
 ＜今後の投資方針＞
 通貨別配分は各国の財政・金融政策の格差を注視し、適宜調整します。デュレーションは各国の景気動向、金融政策の変化等を注視し、調整いたします。

- 当ファンドは、直接あるいはマザーファンドを通じて間接的に、主に外国の公社債に投資し、金利変動等による値動きや為替変動の影響がありますので、基準価額は変動します。また、公社債発行者の信用状況の変化等により基準価額は変動します。当ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。したがって、投資元本を割り込むことがあります。
- 本資料に記載された過去の運用実績に関する数値、図表、グラフその他いかなる内容も将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、本資料に記載された市場やポートフォリオの見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や運用の成果を示唆するものではありません。また予告なしに変更することもあります。

特別勘定の運用概況

2024年3月31日現在

マネー型

コード:0424

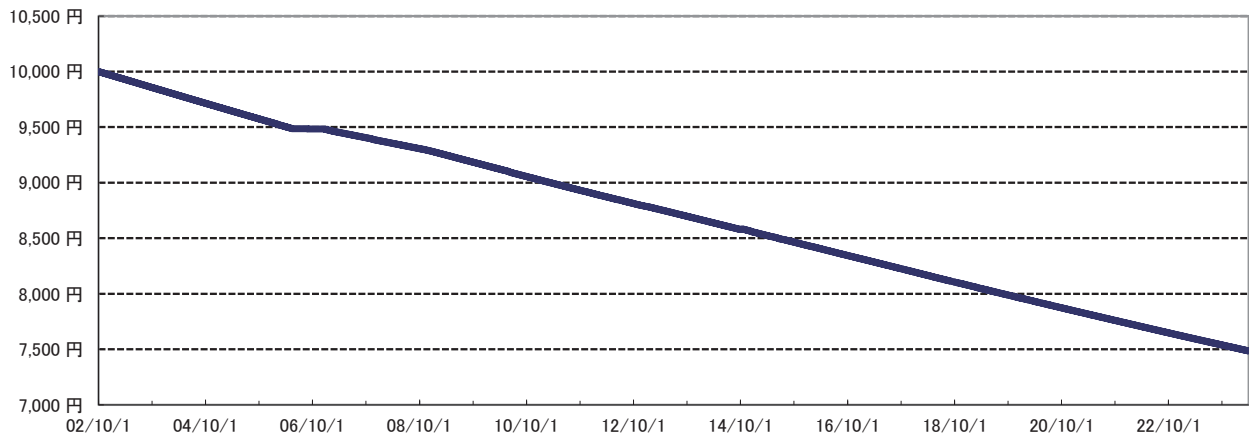
明治安田生命保険相互会社

- ・本資料は「一時払変額個人年金保険(災害2割増型)」の各特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的とするものではありません。
- ・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・「一時払変額個人年金保険(災害2割増型)」は、特別勘定で運用を行なう保険商品であり、投資信託ではありません。
- ・特別勘定の運用に伴うリスク(価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、金利変動リスク等)はすべてご契約者に帰属します。

《運用方針および運用の経過》

- ・当該特別勘定資産の運用は、コールローン等の短期金融資産に投資し、安定した利息収入を追求します。
- ・運用方針に従い、コールローン等の短期金融資産に投資しました。
- ・特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で-0.12%、設定来で-25.15%でした。

《特別勘定ユニット価格の推移》



| ユニット価格 | | ユニット価格変化率 | |
|-----------|----------------|-----------|---------|
| 2024年3月末 | 7,485.49740586 | 直近1カ月 | -0.12% |
| 2024年2月末 | 7,494.66976707 | 直近3カ月 | -0.36% |
| 2024年1月末 | 7,503.25036303 | 直近6カ月 | -0.72% |
| 2023年12月末 | 7,512.42272424 | 直近1年 | -1.43% |
| 2023年11月末 | 7,521.59508544 | 直近3年 | -4.24% |
| 2023年10月末 | 7,530.76744665 | 設定来 | -25.15% |

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
 ・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《特別勘定資産の内訳》

| 区分 | 金額(百万円) | 比率(%) |
|---------|---------|-------|
| 投資信託 | 0 | 0.0 |
| 短期金融資産等 | 0 | 100.0 |
| 合計 | 0 | 100.0 |

- ・金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。
- ・比率は、特別勘定資産合計に対する割合です。
 また、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

お問い合わせ、ご照会は

| | |
|-------|--|
| 募集代理店 | 引受保険会社 明治安田生命保険相互会社 本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1 電話 03 (3283) 8111〔代表〕 ホームページ https://www.meijiyasuda.co.jp/ |
|-------|--|